

令和5年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」 市川 中学校区実践計画書

事務局 市川中学校（担当：教頭・佐藤 功）

1 主題（10年次）

『市川の自然を守り、人と助け合い、励まし合いながら共に進んで尽くす子の育成』

2 主題設定の理由

市川地域は、桔梗野小、轟木小、多賀小、多賀台小の4小学校と市川中の計5校の小・中学校から成り、市川中学校区小・中学校ジョイントスクール推進事業はこの5校で実施する。

各小学校のある4つの地域は、商業区、農業区、半農半漁区、居住区と全く異なる地域性をもっており、この4地域の融和を図ることが大切である。そのため、5校が互いに情報交換しながら共通理解し、4地域が足並みをそろえることが大きな課題であり、その上で教職員・保護者・地域住民の三者が、一体となって子どもたちの育成を図っていかなければならない。このことから、将来を見つめ、仲間と協力しながら地域へ貢献できる子どもの育成を目指し、「嫉の徹底」を目標としながら、感染対策を講じた上で可能な範囲での交流を推進する。

今年度は、地域密着型教育による家庭・地域社会との連携もこれまで以上に考慮しながら、心豊かな子どもの育成を目指して、主題に迫っていきたい。さらに、中学校区の小学校の地域密着型教育コーディネーターの交流会や、授業参観なども行い、さまざまな面から連携を図りたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

- | | |
|-----------|---|
| ① J S 校長会 | 代表：中学校長、副代表：小学校長（輪番制） |
| ② J S 教頭会 | 代表：中学校教頭（J S 推進委員）、副代表：小学校教頭（輪番制） |
| ③ 総 会 | |
| ④ 各 部 会 | 学習指導部（各校研修主任・各校教員）
特別支援教育部（各校特別支援学級担当者・各校教員）
生活指導部（各校生徒指導主事（主任）・各校教員）
養護教諭部（各校養護教諭）
連携部（各校教務主任・各校校長・各校教頭） |

4 重点指導項目等

市川中学校区 重点指導項目

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 気持ちのよい返事やあいさつができる。 |
| 2 | 場に合った声の大きさを話することができる。 |
| 3 | 学習習慣を身に付けることができる |

- ・ J S 校長会 月 1 回程度
- ・ 特別支援学級交流会 6 / 2 6（月） 1 人 1 台端末活用
- ・ J S 養護教諭部会 7 / 2 5（火） 保健指導についての情報交換等
- ・ 親善スポーツ大会 8 / 1 9（土） 野球・バスケット競技を通した小中学生の交流
- ・ 進路ガイダンス 1 1 / 9（木） 担当：市川中学校
- ・ J S 授業公開 1 1 / 1 7（金） 担当：桔梗野小学校
- ・ 小 6 保健指導 2 月中 小 6 に対する中学校養護教諭による保健指導
- ・ 新入生一日入学 3 / 2 2（金） 担当：市川中学校